

高温対策講習会 品種や資材紹介

日本農業新聞掲載日：令和8年1月31日(土)

J A東京みなみの野菜部会連絡協議会と青壮年部は1月下旬、日野市のJ A日野支店で合同講習会を開いた。野菜の耐暑性品種や高温対策資材を紹介した。

講習会は昨年度に続き2回目。部会員ら47人が参加した。タキイ種苗(株)の渡辺勝課長補佐、南多摩農業改良普及センターの佐々木一総普及指導員、JA全農東京の川口夕夏さんが講師を務めた。

毎年11月下旬に製作する明治神宮新嘗(にいなめ)祭で奉納展示する宝船のハクサイやブロッコリーなどについて、製作時期に合わせた栽培や管理方法についても学んだ。

参加者には高温対策資材の「シリカリユウ17」20キロを1人1袋ずつ後日渡し、試験的に活用してもらう予定だ。

同連絡協議会の馬場実会長は「近年の猛暑の中で野菜を栽培していくには、昔からの方法ではうまくいかない。高温対策資材を活用していきたい」と話した。



講習会を受ける部会員ら(東京都日野市で)